

ぶらり
東海道の旅

11月11日
9月6日
珍道中



天竜川治水事業に尽力した男の軌跡をたどろう!

きん ばら めい ぜん

金原明善翁生家

住所/浜松市東区安間町1 電話/053-421-0550

●入館料/無料

●休館日/毎週月曜日、祝日、
年末・年始、月曜日が祝日の場合は火曜日

●開館時間/午前9時~午後4時

浜松生まれ、浜松育ちの
誰もが知っている偉人!

金原明善翁の生家



緑に囲まれた大きくて
立派な木造建築だニャ!

開館中は
自由に見学できるし
予約をすれば
地元の子どもガイドが
説明してくれるニャ。

展示室では
明善さんの
胸像が
お出迎え!



「あばれ天竜」と呼ばれた天竜川。たびたび氾濫を引き起こして地域住民を悩ませた。金原明善は財産を投げ打って、天竜川の治水事業に生涯をささげ取り組んだ人物。その献身的な取り組みは今なお尊敬を集め、郷土の偉人として語り継がれる。旧東海道沿いには、江戸時代後期に建てられたという明善の生家が柱や梁をそのまま生かして再現され、明善ゆかりの遺品展示と治水にかけた信念の軌跡を紹介している。近隣の八柱神社(薬師町)には明善の紀功碑と胸像の台座跡がある。

創建は1000年以上前。

歴史の長い神社は見どころもたくさん。

かば しん めい ぐう

蒲神明宮

住所/浜松市東区神立町471-1

●蒲神明宮例大祭...10月の第2土曜・日曜日



蒲神明宮例大祭

蒲神明宮例大祭では
浜松まつりでも
おなじみの屋台が
いっぱい集まるニャ!

蒲ザクラの
見頃は
3月下旬から
4月上旬

小山みいの
石灯籠

女性たちの活躍が
今も愛される
「遠州織り」を
発展させた!



千年以上の歴史をもつお宮。保存樹木に指定されている豊かな森が境内を囲う。御神木の「亀の楠」もこの森の中に立つ。拝殿前には遠州織物の生みの親「小山みい」の功績をたたえる石灯籠が一对で建つ。小山みいは農家の副業だった織り仕事を地場産業にまで発展させた人物。また毎年10月中旬には「例大祭」が行われ、各町から屋台が勢ぞろいし、地域の人々らでにぎわう中、伝統あるお神楽の舞を今後も残していこうと、地域の子どもたちによって奉納されている。蒲地区のシンボル花に認定され、植樹活動を展開する「蒲ザクラ」も見ることができる。

ニャンコのおすすめルート
蒲地区を歩こう。



蒲神明宮を起点とした約5kmのコース。
寺社巡りと名物紫蘇巻を堪能しよう！

スタート&ゴール

蒲神明宮

かばしんめいぐう

地図
番号 1

徒歩：約15分

円通寺

えんつうじ

地図
番号 2



約300年前に建設された歴史ある山門を構える。俳人・稲垣栄枝は現当主の三代前にあたり、遠州が生んだ俳聖・松島十湖と親交があった。戦前は「学びの寺」として子供らの学芸・学業の場としての役割を担った。境内にある稲垣栄枝の墓には「水ばかり水の味なり雲の峰」という句が彫まれている。

徒歩：約10分

子安神社

こやすじんじや

地図
番号 3



子安様として親しまれている安産・子育ての神様で、祭神は「木花咲耶姫命(このはなさくやひめのみこと)」。神社でお腹帯を借りてお腹に巻くと安産になるとされ、今でも借りに訪れる人がある。

徒歩：約1分

小宮公園

こみやこうえん

地図
番号 4



春の季節には桜が美しく咲く地域にとっての憩いの場。蒲地区に「蒲ザクラ」を育むプロジェクトの一貫として植えられた珍しい「蒲ザクラ」も見ることができる。

徒歩：約16分

蒲地区ルート

【約5kmコース】

【所要時間】(移動にかかる時間の合計)

徒歩／約1時間30分 自転車／約26分



**いぼ神様
(長久寺)**

ちょうきゅうじ

地図
番号 8

イボに効くいぼ神様(宇津木様)として信仰を集める。その昔、イボだらけの行者の死を村人が哀れみ、杖を立て厚く葬ったところ、杖から芽が出て「うつぎの木」になったことに始まる。

徒歩：約14分

徒歩：約12分

芳川沿いの道

ほうがわ

地図
番号 7

季節によって咲く花々が目を楽しませてくれる。亀が多く住み着いており、午前中には甲羅干しをしている姿が見られる。

徒歩：約17分

六軒京

ろっけんきょう

地図
番号 6



このあたりは、蒲蔵(かんまなわて)十六丁と呼ばれるのどかな街道筋で松並木に沿って六軒の家が建っていたことから「六軒」と呼ばれた。浜松名物の「紫蘇巻」はここが発祥の地で、幕末の頃、東海道の旅人相手に茶屋を営んでいた鈴木京次郎の妻が紫蘇巻を考案。茶屋で提供するや評判が広がり、六軒の京次郎さん家の紫蘇巻ということで「六軒京の紫蘇巻」と呼ばれるように。六軒京の看板は武者小路実篤が書いたものとされる。

徒歩：約7分

光禅寺

こうぜんじ

地図
番号 5



雨乞い池



境内にある池は「雨乞い池」として親しまれ、水を司る弁天様を祀る。この弁天様は一般に知られる女神様ではなく、古くインドに伝わる男神様で、鎧兜をまとうて武器を持つ勇ましい姿が特徴的。池の水が少なくなると不思議と雨が降り、恵みの雨となるため、池の水はつねに満々とたたえている。

ニャンコのおすすめルート
和田地区を歩こう。



JR 天竜川駅を起点とした約 5km のコース。
ロマン感じる歴史遺跡や巨松を巡ろう！

スタート&ゴール

JR 天竜川駅

てんりゅうがわえき

地区
番号 9

徒歩：約4分

法橋の松

ほうきょうのみつ

地区
番号 10

徒歩：約6分

六所神社

ろくしょじんじや

(天竜川町) 地区
番号 11



東海道に面して崇敬を集めていたとされる神社。「妙恩寺文書」や「遠江国風土記伝」にその記述が残る。往時の建物は現存しないが、鳥居前に巨木がそびえていた。樹齢260年、目通り3m、樹高17mあったが、昭和54年10月19日の台風20号によって大きく破損、伐採された。

徒歩：約14分

長伝寺

ちやうでんじ

地区
番号 12

村尾多間の墓は本堂西側の墓苑の入り口にある。

徒歩：約2分

八柱神社

やはしらじんじや

(明治天皇御野立所跡)

めいじてんのうおのだてしょあと

(和田町) 地区
番号 13



明治天皇が京都から東京まで東海道沿いに東幸する際休息した場所。実際は東海道沿いで休息したが、碑は境内に移されている。

徒歩：約26分

松並木

まつなみき

地区
番号 14

東海道の名残を残す松並木がある。



和田地区ルート

【約5kmコース】

【所要時間】(移動にかかる時間の合計)

徒歩／約1時間30分 自転車／約26分

妙恩寺

みょうおんじ

地区
番号 18



金原法橋が建立した日蓮宗の名刹。將軍よりの朱印状や制札などが宝物殿に納められている。境内には家康公お手植えの柘植の木(現在は2代目。本堂からみて右手)、高柳健次郎の墓、金原明善の慰霊塔などがあり、明善の命日にあたる1月14日は慰霊塔の前で明善祭が行われる。天龍川町の六所神社の少し東にある「南無妙法蓮華經」と彫られた石標から妙恩寺に至る南北の道は、そのむかし樹木に覆われた「寺道」であったと伝えられている。

徒歩：約17分

小枝桑次郎の碑

さえだくめじろうのひ

地区
番号 17



明和6年(1769年)、村の水不足解消を役人に訴え悲運にも処刑された小枝桑次郎の句碑が立つ。
くもはれ 雲翳てことごとく皆白雪ぞ 来圃
碑に刻まれたこの句は、桑次郎の同族であった小枝来圃が、「雪冤=無実を明らかにすること」を訴えたもの。

徒歩：約6分

八柱神社

やはしらじんじや

(市指定保存樹・もちつきの木)

(薬師町) 地区
番号 16



市保存樹木に指定された62本の黒松が境内にそびえる。樹齢は数百年、二抱えもある巨木だ。また御神木の「もちつきの木」は、もちの木の間から黒松の大木がでて珍しいもので、二本の木がV字に亭々と拡がりを見せている。



徒歩：約8分

勝示杭

ぼうじくい

地区
番号 15

浜松藩の領と旗本松平との境界を示す石杭。

徒歩：約8分

徒歩：約2分

ニャンコのおすすめルート
中ノ町地区を歩こう。



金原明善翁生家を起点とする約4kmのコース。
 交通の要衝で繁栄した往時のにぎわいに触れよう！

スタート&ゴール

金原明善翁生家

きんばらめいぜんおうせいか

地図
番号 19

徒歩：約3分

本坂通(姫街道)起点

ほんざかどおり(ひめかいどう)きてん

この地点は本坂通(姫街道)の起点であり、「□□(従是)鳳来寺」と記された道標は、現在天竜公民館にある。本坂通(姫街道)が鳳来寺道でもあったことを示す。

地図
番号 20

徒歩：約2分

安間一里塚跡

あんまいちりづかあと

姫街道「安間起点」の西にあった「安間一里塚」。江戸から64番目の一里塚となる。東海道の両脇にあったとされるが現存はしていない。

地図
番号 21

徒歩：約16分

中ノ町フラワーロード

なかのまちフラワーロード

ヒマワリやコスモスなど、中ノ町地域の住民らの手で季節の花を咲かせ、町行く人々の目を楽しませている。

地図
番号 22

徒歩：約11分

新天竜川橋

しんてんりゅうがわばし

国道1号浜松バイパス開通にあわせ完成。橋と平行して歩道の整備がなされ、天竜川を下に見て歩くことができる。

地図
番号 23

徒歩：約10分

明治天皇玉座跡・船橋之記の碑

めいじてんのうぎょくざあと

ふなばしのきのひ

地図
番号 24

徒歩：約1分

船橋跡・木橋跡

ふなばしあと

きばしあと

地図
番号 25

中ノ町地区ルート

【約4kmコース】

【所要時間】(移動にかかる時間の合計)

徒歩／約1時間00分 自転車／約22分



松林寺

しょうりんじ

地図
番号 30

境内にある薬師堂は徳川家光の命により建立された元禄時代の建築で、屋根には魔除け・厄除けの念を込めた雄雌の鬼瓦が四方に置かれにらみを効かせている。薬師堂には薬師如来、本堂にはご本尊の地藏菩薩を祀る。遠江四十九薬師霊場めぐりの第八番札所にあたる。

徒歩：約3分

徒歩：約11分

天竜川橋紀功碑

てんりゅうがわばしきこうひ

地図
番号 29

徒歩：約1分

中野町銀行跡

なかのまちぎんこうあと

地図
番号 28

交通の要衝として繁栄を誇った中野町。かつてこの小さな町に「中野町銀行」「浜名郡信用組合」「遠州銀行」など銀行が集結した。中野町銀行の跡地ではレンガ壁のなごりを見ることができる。



徒歩：約1分

中ノ町道路元標

なかのまちどうろげんびょう

地図
番号 27

「道路元標」は市町村の道路の起終点を示したもの。大正9年施行の旧道路法により、各市町村に1箇所の設置が定められたため全国に1万2244基設置されたが、現存するものは1600基ほどで、静岡県内ではおそらく唯一の貴重なもの。



徒歩：約1分

六所神社

ろくしょじんじや

(中野町) 地図
番号 26

徒歩：約1分

ニャンコの 東海道中 こぼれ話



こんな話知ってた？
思わず話したくなる東区のおれこれ。

現存した東海道の松

「市の木」になっている松。昔から神木といわれ様々に使われた。植松と神立の村境を示すのにも松が使われ「鳥居松」と呼ばれた。その松はうっそうと茂り、屋であっても松の下を通るのが怖かったほど。いっぽう植松の円通寺のそばには30年前まで「えびす木」と呼ばれる松があった。植松町の凧や法被を彩る「三がい松」のルーツはこれ!



浜松アリーナ下に眠る 古の文化!!「山の神遺跡」

浜松アリーナの辺りは、市内最大級の集落跡といわれる「山の神遺跡」が眠る。「山の神」はアリーナ周辺の小字名を指す。「山の神遺跡」からは多くの弥生土器が出土し、環濠や墓も発見された。じつは東区は遺跡の宝庫で知られている、いにしへのロマンの町!



弥生時代の浜松っ子、
こんな感じがニャ?

秋葉信仰の跡が残る秋葉灯籠

火伏せの神「秋葉神社」へと続く道は「秋葉道」で知られる信仰の道。暗い夜道を照らす「灯籠」があちこちに作られた。東区一带にも残っていて、神立町蒲神明宮、子安町子安神社、天龍川町六所神社、中野町六所神社などで確認できる。



天竜川には 明治まで橋が無かった

天竜川に橋がかかるまで、通行は船で渡るしかなく、江戸時代には「池田の渡し」が活躍。その後、小舟を並べた「船橋」が登場。かの徳川家康・秀忠も大坂冬の陣の折りに渡ったといわれる。明治9年に初めて掛かった橋は「木橋」。鉄橋の橋は昭和になってからのこと。

東海道を走っていた軽便鉄道

昭和12年2月まで、「軽便鉄道」が東区を走っていた。一両編成の煙突がラッキョウ型のミニSLで、煙をあげながら東海道の松並木や家の軒先すれすれを走っていた。速度は遅く走れば追いつくほどで、藁葺屋根の人家では火の粉が移ってボヤ騒ぎもあったとか…。馬込町(今の中区中央3丁目)から出発し現在の中ノ町自治会館の前が終着点。所要時間は40分。ダイヤは1時間1本だけ。



江戸～京都間のど真ん中はココ!

江戸と京都へ約60里、ちょうど真ん中に位置するのが中野町。天竜川のたもと六所神社の道脇には「道路元標」が今も残る。東海道と天竜川が交差する場所でもあり、昔は天竜二俣から木材や鉱石が運ばれてきてたいへん賑わった。現在も昔の町屋の雰囲気が残る情緒ある町。

江戸時代から続く 中野町の花火

世界で最も精巧で美しいとされる日本の花火。東区では天王町の「お天王さまの花火」、中野町の「煙火大会」がよく知られている。天竜川の河川敷を会場にする中野町の花火は、当地が唯一という仕掛けの「地割れ花火」が見どころ。それは花火をコンクリート護岸に置き爆発させるもの。地表に出る半円状の花火とその爆発音の迫力は圧巻のひとつ。初めて見る人はアクシデントかと驚く人もいるとか。



地割れ花火

蓮地区

ぶらり 東海道の旅

11月10日
11月15日
11月18日



- 神社
- 寺
- 駅
- 碑
- 混合案内板
- 案内板
- お休みの日協力隊
- 公園
- コンビニ
- 駐車場
- トイレ
- バス停
- 交差点
- 郵便局
- おやすみのルート
蓮地区
- おやすみのルート
加田地区
- おやすみのルート
中ノ門地区



瀧神明宮(にしん様)
昔から「ごしん様」と呼ばれ親しまれているお宮。その理由は定かではなく、祀られた神々が「五神」であること。または神明宮の祭神天照大神神の「御神」に由来するともいわれる。



浜松市東区役所 区振興課
 〒435-8686
 浜松市東区流通元町20番3号 東区役所3階
 TEL.053-424-0115
 e-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp